

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公開番号】特開2011-205524(P2011-205524A)

【公開日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-041

【出願番号】特願2010-72423(P2010-72423)

【国際特許分類】

H 04 N 5/74 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/74 D

G 03 B 21/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月15日(2013.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【図1】プロジェクター装置の制御構成を示すブロック図である。

【図2】(a)は、台形歪補正処理前の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図であり、(b)は、台形歪補正処理後の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図ある。

【図3】(a)は、操作パネルの正面図であり、(b)は、位置調節用つまみの拡大斜視図である。

【図4】プロジェクター装置のリモコンを模式的に表した斜視図である。

【図5】プロジェクター装置の投写処理を示すフローチャートである。

【図6】(a)は、縦方向における位置調整処理前の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図であり、(b)および(c)は、位置調整処理後の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図である。

【図7】(a)は、横方向における位置調整処理前の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図であり、(b)および(c)は、位置調整処理後の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図である。

【図8】(a)は、縦横方向における位置調整処理前の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図であり、(b)は、位置調整処理後の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

図8は、投写画像200の縦横台形歪を補正した後の、投写画像200および光変調画像100を示している。図示の光変調画像100は、右方向に移動可能である。位置調整部22は、ユーザーによる操作部16の操作に応じて光変調画像データを補正して、光変調画像100(補正後画像領域51)を有効領域50で左右方向に移動させる。この光変

調画像 100 の移動により、投写画像 200 も図示のように左右方向に移動する。このとき、位置調整部 22 は、光変調画像 100 を、有効領域 50 内において 2 頂点（点 A3 および点 B3）を内接させたまま、また、サイズおよび形状を保持したまま移動させる。なお、実際には、図 8 に示すように、2 頂点を内接させたまま光変調画像 100 を右方向に移動させると、投写画像 200 は僅かに拡大される（同図（b）参照）。